

平成 30 年度 指定管理者評価表

【別紙 5】

施設名：河内長野市立林業総合センター

指定管理者名：大阪府森林組合

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	S
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	S	S
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	S
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

## 2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	550,000	576,300	(26,300)	599,900	
	自主事業収入	4,500,000	5,722,442	(1,222,442)	4,791,007	
	物品販売収入			0		
	手数料収入			0		
	指定管理料	10,914,100	10,914,100	0	10,914,100	
	その他収入			0		
	<b>収入総額</b>	<b>15,964,100</b>	<b>17,212,842</b>	<b>(1,248,742)</b>	<b>16,305,007</b>	
支出	人件費	8,046,000	9,034,039	(988,039)	7,815,295	
	事務費	2,646,000	2,692,953	(46,953)	2,588,217	
	管理費	446,040	569,655	(123,615)	470,042	
	自主事業経費	3,960,000	3,071,686	888,314	4,119,732	
	光熱水費	583,200	641,492	(58,292)	620,503	
	リース料	64,800	100,440	(35,640)	100,440	
	その他			0		
	<b>支出総額</b>	<b>15,746,040</b>	<b>16,110,265</b>	<b>(364,225)</b>	<b>15,714,229</b>	0
<b>収支差額</b>	<b>218,060</b>	<b>1,102,577</b>	<b>(884,517)</b>	<b>590,778</b>	0	

## 3. 総合評価

## 自己評価

指定管理契約3年目の年であり、積極的な広報活動や情報発信、外部連携は費用対効果を考えつつ継続的に行うことができた。平成30年度は木根館から積極的に外部に出向いていく機会も多くなり、河内長野市放課後子ども教室や酒蔵通りスギ玉作りワークショップなど、外部での木根館利用者も増加してきた。(利用者カウントの外数) 森林ESD関連においては、森林ESD河内長野モデルの構築に向け、各教育関係機関や大阪みどりのトラスト協会など多様な連携を図りながら林業体験会や学習会イベント等を実施しノウハウ・経験の蓄積に努め、今後の展開に向けて基礎造りの一年であった。おおさか河内材の情報発信効果も徐々に出てきており、ワークショップや木製品関係の販売高は順調に伸びている。特に企業との連携によりロット注文を頂くなど新しい動きも出てきている。販売品等の製作は内部スタッフで行い、人件費は増えるものの製造コストは抑えることができています。施設の老朽化による修繕箇所も増えつつあり、木部を中心にできる限り森林組合内部での修繕に努め、修繕費の圧縮に努めた。

## 市評価

今年度は、収支報告で収支差額が昨年と比べて約50万円増加した。これは、おおさか河内材ミニチュアハウスの組み立て体験といったおおさか河内材利用促進を図る事業が功を奏し、自主事業収入が増加した結果と考えられる。自主事業は市民サービスの向上に繋がるものであるべきで、引き続き施設の設置目的に照らした利用者の満足度を高める事業が展開されることを期待する。また、教育機関との連携が昨年度から進められており、今年度も学校への出前授業や放課後子ども教室が行われた。学校教育での森林の関わりは、子どもたちの森林への興味に繋がり、これからの森林保全の促進に重要なことであり、今後も教育機関との連携の充実を図っていただきたい。

今後は、指定管理契約期間の終盤として、今までの取り組みを振り返り、効果的な林業振興を進めるとともに、周辺施設(地域活性・交流拠点施設等)と連携して集客アップに努めていただきたい。